

2021年3月31日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名「咽頭喉頭食道全摘術の再建法と治療成績に関する全国調査」

1. 研究の対象

当院において2015年1月1日より2019年12月31日の期間に咽頭喉頭食道全摘術（胸部食道切除再建を伴う）を行った患者さん

2. 研究の目的・方法

下咽頭癌や頸部食道癌の根治術において、病変が頸部に限局している場合には、咽頭喉頭食道摘出術および遊離空腸再建が行われる場合が多いです。しかし、病変が胸部食道にまで及ぶ場合や重複する胸部食道癌を有する場合には、咽頭喉頭食道全摘術が必要になります。咽頭喉頭食道全摘後の再建は胃管が第一選択となりますが、再建距離が長いため、胃管先端の虚血から胃管壊死や縫合不全の合併症が少なくありません。

これに対して、遊離空腸の追加や胃管の延長などの工夫が報告されていますが、咽頭喉頭食道全摘術後の再建方法についてのまとまった報告は非常に少なく、再建方法の優劣に関しても明らかではありません。本研究により、本邦で行われている本術式の実態を把握し治療成績を明らかにするとともに、治療成績向上のための至適術式を探索したいと考えています。なお、本研究は日本気管食道科学会推進研究で、協力いただける全国の日本気管食道科学会専門医研修施設で行われます。

また、本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

3. 研究期間

承認日 ~ 2022年05月25日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：病状、手術所見、術後経過などのカルテ情報

試料：ありません

5. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究事

務局へ行きます。対応表は、当科において研究責任者が保管・管理します。

6 . 研究組織

日本気管食道科学会推進研究：PLTE 多施設研究グループ

がん研究会有明病院 他 全 48 施設

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

研究責任者 加藤 久幸

連絡先：電話番号 0562-93-2196 FAX 番号 0562-93-1825

公益財団法人 がん研究会有明病院

〒135-8550 東京都江東区有明三丁目 8 番 31 号

研究事務局 消化器外科 副医長 岡村 明彦

連絡先：電話番号 03-3520-0111(代表) FAX 番号 03-3520-0141